

第3回 一般社団法人日本生物物理学会 講師派遣事業 開催報告

開催日	2017年12月18日
学校名(場所)	東邦高等学校
授業の名称	光といのちの生物物理学
講師名	神取 秀樹 氏 (名古屋工業大学大学院工学研究科教授)
参加者	1年生 30名
生徒さんの感想	<ul style="list-style-type: none"> ・ 貴重な時間を割いて、授業や研究室見学をさせてくださり、ありがとうございました。僕は理系の道に進みたいと思っています。特に、生物に興味があり、先生に会う前までは正直あまり名工大を意識していませんでした。しかし、先生の経歴をお聞きしたことで、こんな生物への関わり方もあるのだと思いました。本当にありがとうございました。 ・ 細かいところはあまり理解できなかつたけれど、クラゲとホタルのところがとても面白かったです。あまり興味のない分野でしたが、講義を受けて、生物に少し興味が湧きました。研究室の見学でも、見たことない器具ばかりでワクワクしました。本当にありがとうございました。 ・ 忙しい中、私たちのために講義を準備してくださり、ありがとうございました。難しい内容も、私たちに伝わるように詳しくお話していただけて、とても貴重な体験をさせていただきました。私は文系なので、今後に直接かかわってくることはないかもしれませんが、興味深いお話でした。ありがとうございました。 ・ マウスで行った実験によって出された結果が今後の近未来でロボットや人体でも活用できるようになるかもしれないと思うと、すごく楽しく話を聞くことができました。青い光と赤い光で働きが違い、その違いも利用して、今後、ロボットが開発されたときに色々なはたらきについて実験できるのではないかと思えました。 ・ かなり長い時間の講義をありがとうございました。僕はIT系に強い興味があるので、生物にはあまり興味はなかつたのですが、物理の話題もあり、興味をもって聞くことができました。細胞の数、ミクロの世界、遺伝など色々面白かったです。神取先生のおっしゃっていた通り、やはり最後の光での操作が面白かった、…というかびっくりしました。 ・ 特別講義、ありがとうございました。まだ習っていないところが沢山ありましたが、私は生物を選択するつもりなので、来年の授業を先取りできた感じがし、良い機会になりました。人の体って難しいなあと思った反面、もっと知りたい！！とかなり興味が湧きました。

- ・生物系でも、化学や物理などたくさんの知識が必要だと思った。驚いたのは、50年ほどかかってヒトゲノムが解読されたことで、実験の大変さがわかった。自分も大学で1つのことに執着できるような実験がしたいです。
- ・特殊な光を当ててネズミが活発に動く動画を見て、とても興味が湧きました。今回の体験を生かせるように頑張りたいです。
- ・今までは大学生が何をしているかわからなかったが、研究室などを見学して、研究したり話をしたりして楽しそうなところもあったので、見れて良かった。
- ・生物は物理より本当におもしろそうだと思います。
- ・わからない言葉が沢山出てきたけど、知っている言葉が出てきたときに頑張って理解しようことができました。
- ・光や色の研究も、いつか私たちの生活に役立つようになってほしいと思いました。
- ・専門的な部分もわかりやすく説明してくださったので、積極的に話を聞くことができました。
- ・物理を選んでも、生物ができることを知りました。
- ・全くの別ジャンルであると思っていた物理・化学・生物の中にも一切関係なければ、内容を共有している部分もあると具体的に感じられました。
- ・自分の興味のある内容だったので、あっという間に時間が過ぎました。

